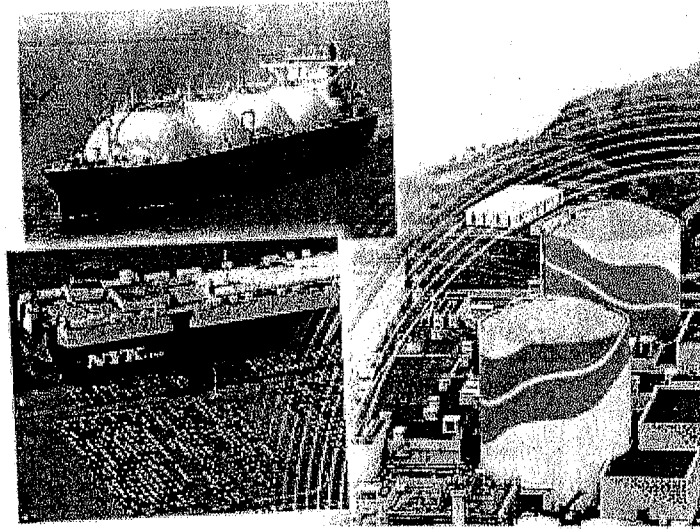


政権・財界「再稼働で収支改善」

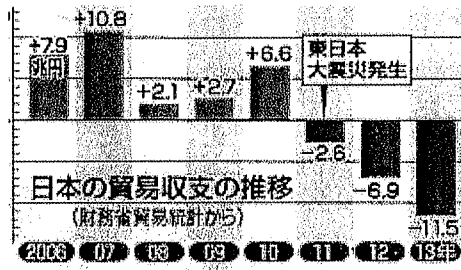
昨年、10兆円を超える過去最大の貿易赤字を録した日本。原発を推進する安倍晋三政権の要閣僚や財界人らは「原発の全面停止で代替力の燃料輸入が増えたためだ」と主張、貿易

収支改善のためにも原発再稼働が欠かせないと訴える。本当に原発ゼロが貿易立国・日本の国富流出を招いているのか、検証した。
(社会部・加藤美望)

原発ゼロで貿易赤字本当？



「(原発を)動かせる状況になれば、電気料金は安くて済む。貿易収支は助かる」(麻生太郎財務相)
「安全審査を加速して早期の原発再稼働に努めてもらいたい。そうすれば化石燃料の輸入にストップがかかり、望ましい」(経団連の米倉弘昌前会長)
今年に入り、政財界では「確かに日本の貿易収支は



この間、輸出は二・四兆円しか増えていないのに、輸入はそれを上るかに上回る二〇・五兆円の増加。自動車や電気製品などの海外輸出で稼ぎ「黒字大国」を

原油高・円安

「(数年で急速に悪化している。財務省の貿易統計によると、東日本大震災前の二〇一〇年に六・六兆円の黒字だったが、一二年から赤字に転落し、一三年は一・五兆円の赤字に。巨額の国富が流出している。

核心

「原発停止の影響はあくまで一部にすぎない」と指摘するのは、シテイグループ証券エコノミストの飯塚尚己氏。「原油・粗油」の輸入額はこの三年で四・八兆円増えたが、黒字自体はむしろわずかながら減っている。一〇年初めから一三年末までに、原油は約四割値上がりし、為替も一ドル九〇円から一〇五円まで安くなった。つまり、輸入額が増えたのは原油価格の上昇と円安という経済環境の変化が主因で、原発ゼロは理由にならないという。

「原発停止の影響はあくまで一部にすぎない」と指摘するのは、シテイグループ証券エコノミストの飯塚尚己氏。「原油・粗油」の輸入額はこの三年で四・八兆円増えたが、黒字自体はむしろわずかながら減っている。一〇年初めから一三年末までに、原油は約四割値上がりし、為替も一ドル九〇円から一〇五円まで安くなった。つまり、輸入額が増えたのは原油価格の上昇と円安という経済環境の変化が主因で、原発ゼロは理由にならないという。

「原発停止の影響はあくまで一部にすぎない」と指摘するのは、シテイグループ証券エコノミストの飯塚尚己氏。「原油・粗油」の輸入額はこの三年で四・八兆円増えたが、黒字自体はむしろわずかながら減っている。一〇年初めから一三年末までに、原油は約四割値上がりし、為替も一ドル九〇円から一〇五円まで安くなった。つまり、輸入額が増えたのは原油価格の上昇と円安という経済環境の変化が主因で、原発ゼロは理由にならないという。

伸びぬ輸出

飯塚氏は「仮に原発が再稼働してLNGの輸入額と価格が下がったとしても、貿易赤字は三兆円くらいしか減らない。再稼働で赤字が一気に解消することはない」と断言。貿易収支悪化の本質的な要因は、輸出産業の主力である自動車などが国内から海外へ生産をシフトしたり、情報通信産業の国際競争力が急激に悪化したためだ。むしろ、産業・貿易構造の変化が大きい。日本の貿易収支は今後も長期にわたって赤字を続ける可能性が高い」と指摘する。

そもそも円安は、一二年十二月に発足した安倍政権が掲げる経済政策「アベノミクス」が誘導した。本来は、円安が進めば製造業の輸出が増え、貿易収支はいずれ黒字化するはずだったが、輸出は伸び悩み、輸入額を必要以上に膨らませた。貿易赤字の背景には

「仮に原発が再稼働してLNGの輸入額と価格が下がったとしても、貿易赤字は三兆円くらいしか減らない。再稼働で赤字が一気に解消することはない」と断言。貿易収支悪化の本質的な要因は、輸出産業の主力である自動車などが国内から海外へ生産をシフトしたり、情報通信産業の国際競争力が急激に悪化したためだ。むしろ、産業・貿易構造の変化が大きい。日本の貿易収支は今後も長期にわたって赤字を続ける可能性が高い」と指摘する。